

# 六甲アイランド

地域広報紙

2020年10月30日(金)発行  
自治会報 第91号

発行人 實光 良夫  
編集 自治会 広報部  
発行者 六甲アイランドCITY自治会  
神戸市東灘区向洋町中2丁目8番地  
TEL (078) 857-7375 FAX (078) 857-7376  
E.P=http://www.ric.jp/  
Mail=ric-jichikai@ricv.zaq.ne.jp  
印刷 (株)甲南堂

第18回

## RIC文化フェスティバル開催

アイランドの秋の恒例行事、RIC文化フェスティバルも今年で18回目を迎えます。

■開催日時…11月15日(日曜)

12:30～16:30

■開催場所…神戸ファッション美術館5階  
オルビスホール

■入場無料

コスモポリタンでフレンドリーな芸術文化都市・六甲アイランドには、プロの演奏家だけでなく、多種多様なご趣味を持つ住民の方々がいらつしやいます。

文化フェスティバルという文化事業を通して、住民自身の文化芸術を発信することで六甲アイランドの良さ、美しい街、住み続けたい街を表現できれば嬉しいです。

■プログラム構成は途中に休憩を挟んで2部構成、小山乃里子さんの軽妙な司会で進んでいきます。

今年もダンス、フラダンス、太極拳、ハワイアン、ピアノ弾き語り、バンド演奏、合唱など盛りだくさんの舞台を予定しております。

日頃の活動状況や練習風景などのトークも交え、舞台にかけての熱い思いを感じていただければと思います。

秋の一日、たっぷりアイランドの文化をお楽しみください。



昨年のフィナーレの様子

今年のスペシャルゲストは2組です。

●フルート演奏「角家道子さん」、

●ピアノは「大江汽笛さん」

●クラシックギターデュオ

「GEN・NOTE」

ウイズコロナの時代、以下の感染予防対策を講じての公演となりますのでご協力を願います。

①使用客席は定員数の半分としますので、

早めにご来場ください。

②ご来場の際は、マスク着用をお願いします。

③受付での検温及び氏名・街区名のご記入をお願いします。

④舞台進行に際しては、換気タイムを適時設定し扉を開けて換気を行います。

文化フェスティバルは、運営スタッフも全てボランティアです。演奏者として舞台上に上がれなくとも、「活動してみたい!」

と思つた方は、是非ともご一報ください。

フェスティバルの意味は「お祭り」。出演、運営、観客と立場の違いはあっても、六甲アイランドを愛する者同士、拍手と歓声に包まれた感動のステージをご一緒に創りあげましょう。

ご来場をお待ちしています。



ピアノ  
大江 汽笛さん



フルート  
角家 道子さん



ギターデュオ  
GEN-NOTE  
山崎 由規さん(写真右)、  
荒木 善彦さん(写真左)

## 責任



六甲アイランド小学校長  
宮地 陽一朗

本年度より六甲アイランド小学校でお世話になっております宮地陽一朗です。よろしく願いいたします。

このことを全く覚えていない私に、その子はこうも言いました。「先生のあの一言を今も大切にしています。自分のことを本当に分かっていてくれて、他の誰でもない自分」のことを認めてくれた一言だったから。」

もう七、八年ほど前になりますが、五・六年生と持ち上がった担任し、卒業させた子供たちとの同窓会がありました。当日はたくさんのお話に花を咲かせていたのですが、その中でこんなことがありました。

八年前のある日のある場面での自分の一言。教師も人間ですから担任した全ての子どもたちとの全ての関わり、言動を覚えているわけではないと言えどもそれまでです。しかし、教師であるからこそ、自分の発した一言が、教え子の人生や生き方に大きな影響を与えることがあるのだとしたら……これが私たち教師の責任であり、この仕事の素晴らしさ、やりがいでもあります。

ある教え子が「先生、あの時よくに言ってくれた言葉、覚えていますか?」……恥ずかしいことに私は、即答できませんでした。

私はこれからもそのことをしっかりと胸に刻んで、教師であり続けたい。そして、今年新たに会った六アイっ子、六アイの教職員、保護者・地域の皆様と共に、責任とやりがいをもって頑張っていきたい。そう強く思っています。今後ともどうか、本校の教育活動にご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。





# 努力が報われる向洋小学校に



向洋小学校長  
奥村 富三

## 【向洋小学校に着任して】

この四月より向洋小学校の校長として着任しました奥村富三と申します。よろしくお願いたします。家は垂水区にあり、東灘区の学校に勤めるのは初めてだったので、遠いところにある人工的な島のイメージしかありませんでした。そして、四月一日着任の日。六甲ライナーから見える海に心を癒され、駅から学校までの道すがらの多くの緑で新鮮な気持ちになり、これが本当に人工の島なのかと疑ったほどでした。圧巻は、帰宅時の駅周辺の灯りに照らされた街並みで、外国のお洒落な街にでも来たような気分になりました。これが、六甲アイランドの第一印象で感激の連続だったことを今でも覚えています。それが、次の日から景色の素晴らしさをのんびり感じていることもできないうらいコロナ禍の多忙な日々が始まりました。

## 【今までの経験が通用しない日々】

コロナ感染者が少しずつ増えていく中、例年通りにはいかならうなとは思っていました。が、新一年生が心待ちにしていた入学式や在校生と担任が初めて出会う始業式も中止になり、ほぼ五月末までの二か月間は休校状態になりました。しかし、その間も学校は動いています。刻一刻と状況が変わる中、国や神戸市の方針も二転三転し、それに応じた対応を迫られました。その中で一番大変だったのは、子どもたちの課題作りです。家庭でも勉強をということ、全然学習していない内容を一からプリントにし、一人分五十枚以上も印刷して配っている学年もありました。

六月に入って分割登校が始まり、先生も子どもたちに会えた喜びはひとしおだったようです。中旬からはいよいよ全員登校。教室の密状態を気遣い、放課後は消毒作業など、あの時の異常事態は一生忘れないでしょう。

## 【努力が報われる学校に】

勉強にしても運動にしても、わかった・できた・伸びたと自分で実感できることが『努力』を続ける原動力になります。とは言うものの、私自身、学生時代には「努力したら報われるって本当なのか」「努力しても元から才能のある人には勝てない」と、全力で努力しなかったことも多々ありました。しかし、今こうして小学校教師という仕事に就いてみると子どもたちの頑張っている姿から「やっぱり努力したら必ず報われる」ということを実感する場面が本当にたくさんあります。もちろん一生懸命努力したからといって、すぐに結果が表れるとは限りません。それでも、心折れそうになりながらも信じた道を進み続けたり、先生も子どもたちに会えたり、先生は最後には大きな喜びを手に入れたり、努力の過程が後々に生きてきたりしています。そして何より、努力している姿は必ず誰かが見ており認めてくれるものです。そのように、子どもたちの努力を見逃さず、努力が報われる向洋小学校でありたいと思っています。

# コロナ禍の自治会行事・イベント

六甲アイランドCITY自治会関連の上半期のイベントはコロナ禍の影響を受けてほとんど中止となりました。特にサマーマイブニングカーニバルは台風の影響での中止に加えて2度目の中止となり、多くの住民の皆様から非常に残念との声を聞きました。

今年度の総代会は昨年までの集会による開催を中止し、神戸市が推奨する「書面表決」での承認決議となりました。住民の皆様には例年通り、六甲アイランドだよりで配布させていただきました。

バラ祭りもイベントは取り止めたのですが、住民の皆様が多く、見学に来ていただきました。ポストカードの配布と来年用に採用する写真の応募は実施しました。採用が決まっ

た写真2点を紹介いたします。来年開催予定の第10回バラ祭りはコロナ禍を乗り越えて住民の皆様と一緒に楽しめることを願っています。



写真提供 高橋 健介さん



写真提供 後藤 正さん

## 編集後記

新型コロナウイルスはまだまだ終息には至ってありませんが、自治会2大イベントの一つである文化フェスティバルがもうすぐ開催されます。自治会として、久しぶりのイベントとして一歩踏み出しました。Withコロナ時代、多くのイベントが再開できれば幸いと思います。

お問い合わせ先

六甲アイランドCITY自治会  
(RICふれあい会館)広報部まで  
TEL 857-7375 FAX 857-7376  
E-MAIL ric-jichikai@ricv.zaq.ne.jp

